

## 令和元年度における関係団体の取組状況

## 1 青森県小学校長会

活 動 内 容	
<p>県下 10 の地区における全般的な取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校における「食育の全体計画」の整備・見直しに努めている。</li> <li>2 教科、総合的な学習の時間、特別活動（学校給食の時間）等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。</li> <li>3 専門的知識を持つ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーに迎えた授業を行い、食の指導に生かしている。</li> <li>4 学校保健委員会の活動に生かし、児童のみならず、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について考える機会の設定に努めている。</li> </ol> <p>※ 食育イベントを開催して、栄養教諭、学校栄養職員が給食の紹介や食育のクイズやゲーム等をしている地区がある。</p>	
今後重点的に取り組みたい事項の例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの健康課題への取組として、食育の性格上、家庭との連携は欠かせない。養護教諭と連携して、個別指導に取り組んでいる地区がある。</li> <li>2 栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えた出前授業を一部の学年ではなく、全学年での実施を掲げている地区がある。</li> </ol>
取組の具体的な手法や特徴的なことの例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。</li> <li>2 PTAが中心となり、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの食育に取り組んでいる地区がある。（講話、調理実習等）</li> <li>3 参観日の機会を利用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え講演をした地区がある。</li> <li>4 学校栄養職員の活用が重視され、多くの学校で学校保健委員会や学級活動（保健、家庭）、クラブ活動等での活用が見られている地区がある。</li> </ol>

## 2 青森県中学校長会

活 動 内 容
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「家庭科」「保健体育」の授業で、食と健康等食育に関する内容を展開し、学習のねらいを達成できるようにしている。</li> <li>2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校集会等を活用し、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。</li> <li>3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食の良さを再認識できるよう努めている。</li> <li>4 学校給食等とおして、食の大切さを学ばせている。 (学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食便り」「お知らせ」の活用など)</li> </ol>

### 3 青森県高等学校長協会

#### 活 動 内 容

##### 1 高等学校の学習活動における食育の取組

###### (1) 各教科等における取組

- ①共通教科「家庭基礎」、「家庭総合」 ※すべての高校において履修
  - ・各ライフステージの栄養的な特徴の理解と調理実習による技術の習得
  - ・自分自身の食事内容を振り返り、望ましい食生活を考えさせる学習
  - ・市販の弁当等から食材の原産地やフードマイレージを考えさせる学習
- ②専門教科「フードデザイン」、「食文化」 ※主として専門学科における履修
  - ・食事の意義と役割の理解、健康な食生活に関する学習
  - ・実習を踏まえた食品の特徴、調理上の性質、成分変化等に関する学習
  - ・食育基本法を踏まえた食事の重要性についての理解
  - ・伝統的な行事に伴う料理や食材等に関する由来や意味の理解
  - ・行事食や郷土料理に関する学習と調理技術の習得
  - ・食文化の伝承の重要性や新しい食文化の創造に関する学習
- ③課題研究、「総合的な学習（探求）の時間」、「介護基礎と福祉」
  - ・高齢者の栄養学を踏まえた調理法の実習
  - ・味噌汁や発酵食品の効能
  - ・病気と食、望ましい生活習慣と食、健康寿命を延ばすための食生活
- ④保健体育（保健）（健康を支える環境づくり）
  - ・食品と健康（食品の安全性の確保、食品衛生活動）
  - ・健康に関する環境づくりと社会参加（ヘルスプロモーション、適切な健康情報の活用）

##### 2 青森県高等学校教育研究会・家庭部会における取組（研究発表等）

###### (1) 実践発表・総合調理実習：東奥学園高等学校

「地元で活躍できる調理師を目指して～『総合調理』の取組」

- ・献立作成を通して、食品の栄養価値、食品の特性を学ぶ
- ・食育活動の場と捉え、食事を通しての食の楽しさ、大切さ、食文化を伝える
- ・食育活動につなげるために、旬の食材を多く活用し、地産地消に努める
- ・短命県返上を念頭に減塩に努め、素材の味を活かした味付けにこだわる

###### (2) 分科会・模擬授業：八戸中央高等学校

「健康で環境にも配慮した食生活～一人暮らしの朝食について～」

- ・一人暮らしでも作れる簡単な朝食を作ろう
- ・手作り朝食とコンビニ購入のメリット・デメリット（栄養面、環境負荷）
- ・食生活が環境へ与える影響を考えよう
- ・環境に配慮した食生活のためにできること

## 4 青森県特別支援学校校長会

活 動 内 容	
<p>本校長会としての事業は実施していませんが、各校の学校運営において食育に関する指導を位置づけ、計画的、継続的に取組を進めております。以下、各校の幼児児童生徒の障害等の状況に応じた主な取組を集約し、報告いたします。</p>	
取組や具体的手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	<p><b>授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい食生活（栄養素、カロリー、食品表示の見方、食事バランスガイド）</li> <li>・基本的な調理に関する技能</li> <li>・日常食や地域の食材を活かした調理活動・地域の食文化</li> <li>・食事のマナー</li> <li>・給食指導</li> <li>・現場実習中の食生活</li> <li>・衛生管理、食中毒の予防</li> <li>・病気の予防（生活習慣病、高脂血症）</li> </ul> <p>1 指導場面としては、学級、学年、学部、全校集会（給食委員会活動（給食のメニューや食材に関する一口メモの放送、旬の食材や食事のマナーに関するポスター作り、栄養黑板への掲示）</p> <p>2 栄養士による授業</p> <p>3 保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食試食会</li> <li>・外部講師による親子料理教室（非常食）</li> <li>・食物アレルギーの対応と相談 など</li> </ul>
	<p><b>研修会</b></p> <p>1 保護者対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食試食会（レシピの提供）</li> <li>・学習会（野菜、果物の必要性、食形態、食物アレルギー、肥満予防など）</li> </ul> <p>2 教員対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食指導</li> <li>・嘔吐物の処理 など</li> </ul>
	<p><b>イベント的</b></p> <p>1 給食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セレクト給食、リザーブ給食（主食・主菜・デザート選択）・リクエスト給食</li> <li>・ビュッフェ給食（修学旅行や宿泊学習前）</li> <li>・行事食（節分、ひな祭り、歓迎会、お月見、退舎式など）</li> <li>・全国各地の郷土料理の給食（太平燕、ゴーヤチャンプルー、どんどろけめしなど）</li> <li>・地場産物（ごぼう、ながいも、菊、さば等）を活用した給食（くじら汁、せんべい汁、けの汁など）</li> <li>・非常時の給食の提供（救給カレー）</li> </ul> <p>2 テーブルマナー学習（校外学習、宿泊生活学習時）の実施</p> <p>3 りんご生産収穫体験の実施 など</p>
	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食目標、食育ポスターの掲示並びにホームページへの掲載</li> <li>・給食だより・給食便りに食材に関する情報を記載（旬の食材）</li> <li>・旬の食材の展示及び食卓メモにあわせた掲示物の展示（魚油脂の模型など）</li> <li>・清涼飲料水の砂糖掲示・菓子の脂質量掲示</li> <li>・学校全体で取り組む「食べ方」「盛り付け方」のできる減塩指導</li> <li>・アップルウェブラジオ番組での給食献立発表</li> <li>・青森県学校給食献立コンクールへの参加 など</li> </ul>

## 5 青森県学校保健会

活 動 内 容	
1 健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施 2 「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催 ○期日：令和元年11月8日（金） ○青森市立南中学校 3 学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。
今後取り組みたい事項	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

## 6 青森県PTA連合会

事業名	食育活動助成事業
期 日	令和元年6月～令和2年3月
連 携 団 体	(公財) 青森県学校給食会
活動内容・参加者等	PTAが行う食育活動に対して、(公財) 青森県学校給食会から経費の助成を受け、親子料理教室やファミリー料理教室を実施している。

## 7 公益財団法人 青森県学校給食会

### 活 動 内 容

- 1 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物36種類、教材セット）を指導教材として作成し、学校、食育関係団体等に貸出を行っている。

事業名	貸与施設数	助成対象事業者
県産品フードモデルの貸出	14ヶ所	青森市小学校給食センター等

事業名	貸与施設数	助成対象事業者
フードモデル（教材セット）の貸出	20ヶ所	八戸市学校西地区給食センター等

令和元年12月末時点

- 2 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。

事業名	助成金額	助成対象事業者
PTA食育活動支援事業	746,800円	三沢市立三沢小学校PTA他21団体 (参加人員 1,362名)

令和元年12月末時点

- 3 地場産物を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。

また、コンクール作品が今後の学校給食の献立として活用されるよう商品開発を行っている。

開催日	開催場所	概 要
令和元年10月9日	県庁	第1次審査 応募数 13チーム（7校）
令和元年11月16日	学校給食会	第2次審査 10チーム（7校）

取組の具体的手法や特徴的なこと	青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県PTA連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。
-----------------	--

## 8 青森県学校給食センター連絡協議会

### 活 動 内 容

学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育事業に取り組んだ。

取組の具体的手法や特徴的なこと	学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。
-----------------	------------------------------

## 9 青森県養護教員会

活 動 内 容	
<p>1 会員各自が、勤務校において、家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校栄養職員と連携し、発達段階に応じた学級・学年における「食」に関する指導の計画・実施。</li> <li>・学校保健委員会等で、「食」をテーマに取り上げ、健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施。</li> <li>・食物アレルギーについて、職員を対象とした研修の実施。</li> <li>・参観日やPTA委員会等での「食」に関する講話や給食試食会・調理実習等の実施。</li> </ul>	
<p>2 県または各郡市において、会員の研修会や情報交換の場を設定し、児童生徒の健康課題改善のため、「食」に関する実践の紹介や研修を実施して資質の向上を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東郡養護教員会第2回研修会 平成元年7月23日 講演「食とスポーツで育む健やかライフ」 東北女子大学 家政学部 健康栄養学科 教授 西田 由香 氏</li> <li>・北五養護教員会第1回研修会 令和元年8月7日 講演「食物アレルギー ～新しい知見とともに～」 こどもクリニック おとも 院長 小友 勇人 氏</li> </ul>	
<p>3 本会のHP（あおりんご）に県の「食」に関する情報や研修会の案内等を掲載し、会員の「食」に関する情報の周知や、研修会の紹介に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおもり食命人自立活動支援事業（青森県農林水産部）のページとリンク</li> </ul>	
<p>取り組みの具体的手法や特徴的なこと</p>	<p>学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。そのため、養護教諭が自校の実態から、多岐にわたる健康課題を「食」と関連づけながら関係職員・関係機関と連携し、実態改善に向けた取り組みを行うことができる。</p>

## 10 青森県学校栄養士協議会

活 動 内 容	
<p>1 毎年6月、11月に「ふるさと産品給食の日」と名付け、県産品や地域の産品を多く取り入れた給食を実施。</p> <p>2 県スポーツ健康課のあおもり型給食促進事業を受けて、5つのコンセプトである、「塩分ひかえめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・青森に感謝」に沿った献立を作成し実施。</p> <p>3 体格から個人別に推定エネルギー必要量を算出する「栄養管理システム」を活用して、給食管理を行い、肥満改善に向けて取り組んだ。</p> <p>4 食に関する指導として、関係職員と連携し、給食時間及び学級活動・教科の時間にバランスのとれた食事のとり方、健康的な生活の過ごし方などの指導を行った。また、学校保健委員会では助言を行った。</p> <p>5 児童生徒に喜ばれる給食を目指し、料理人を講師に迎えて調理講習会を開催し、会員の資質向上に努めた。また、会員が講師となり、保護者や児童生徒を対象に、家庭の望ましい食生活につながるような調理講習会を行った。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>1 「ふるさと産品給食の日」には、給食だよりや校内放送等で県産品や地域の産品を紹介し、児童生徒、保護者に対して地産地消の啓発を図った。</p> <p>2 あおもり型給食の普及については、県販売戦略課で開発した「できるだし」を使った減塩料理や野菜をたっぷり使ったおいしい料理などを、調理講習会で保護者に伝達した。</p> <p>3 食に関する指導では、地区ごとに生活習慣病予防につながるようなテーマを設け、保健所と連携した指導や教科と関連づけた指導（家庭科での減塩みそ汁、保健体育での生活習慣病予防）、運動の実際等を実施。</p>
今後重点的に取り組みたい事項の例	<p>1 児童生徒の肥満改善に向け、効果を上げる方策について部会を設けて研究し、実践していきたい。</p> <p>2 食に関する指導については、県内各地で実践できるように、関係職員と連携して取り組んでいきたい。</p>

# 1 1 特定非営利活動法人 青森県消費者協会

活 動 内 容	
1 食育活動の継続 (1) 食の安全・安心推進事業 (2) 地産地消推進事業・県産食材利用推進事業 (3) 食品ロス削減推進事業  2 重点的な取組内容	
事業名①	食の安全・安心推進事業 (2回)
期 日	平成31年4月～令和2年3月
場 所	青森市
活 動 内 容 ・ 参 加 者 等	食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会、フォーラム、研修会、学習会・料理講習会等を開催  <b>■6月12日(水)</b> 消費生活大学院講座 「カラダは食べた物でできている」 講師：(株)明治 会場：県民福祉プラザ5F 調理実習室  <b>■6月19日(水)</b> 令和元年度 消費生活大学講座 第2回 「冷凍食品～その知られざる魅力～」 講師：一般社団法人日本冷凍食品協会 広報部長 三浦佳子氏 会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール
事業名②	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業 (4回)
期 日	平成31年4月～令和2年3月
場 所	青森市
活 動 内 容 ・ 参 加 者 等	県産品に親しみ、利用拡大するための料理講習会、バスツアー等を実施、参加。  <b>■6月30日(日)</b> 親子で学ぼう！消費生活 「青森ほたて親子料理教室」 講師：栄養士 水嶋優子氏・須藤裕子氏 青森県ほたて流通振興協会「青森ホタテキャラバン隊」 会場：古川市民センター 2F ランチルーム、家庭科室  <b>■8月28日(水)</b> 令和元年度 消費生活大学講座 第4回 「県産素材で、健康で美しく若々しく！～あおもりPGやシジミエキスの魅力～」 講師：地方独立行政法人青森県産業技術センター 工業総合研究所 企画経営監 内沢 秀光氏 会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール  <b>■12月1日(日)</b> 親子で学ぼう！消費生活 「親子で作る！クリスマス料理&知っておきたいお金のこと」 講師：青森県金融広報委員会 丸山厚子氏 前青森県学校栄養士協議会 会長 相馬英子氏 会場：県民プラザ 5F 調理実習室 ・一般社団法人青森県養豚協会協力

	<p>■12月6日（金）</p> <p>青森消費生活大学院講座 「県産豚肉を使った料理」</p> <p>講師：前青森県学校栄養士協議会 会長 相馬 英子氏</p> <p>会場：県民プラザ 5F 調理実習室</p> <p>・一般社団法人青森県養豚協会共催</p>
事業名③	食品ロス削減推進事業（2回）
期 日	平成31年4月～令和2年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食品ロス削減を目的とした講演会、料理講習会の開催、参加。</p> <p>■5月22日（水）</p> <p>令和元年度 消費生活大学講座 第1回 『SDGsと消費者政策 ～「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて～』</p> <p>講師：消費者庁 消費者政策課 政策企画専門官 戸川雄介氏</p> <p>会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p> <p>■11月6日（水）</p> <p>第55回青森県消費者大会 「食品ロスを巡る情勢～消費者にできること～」</p> <p>講師：農林水産省 東北農政局 食品企業課長 内藤光幸氏</p> <p>会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p>

## 1 2 青森県食生活改善推進員連絡協議会

活 動 内 容	
1	おやこの食育教室 「食育5つの力」の中から「食べ物をえらぶ力」「食べ物の味がわかる力」をテーマに、料理講習会と減塩指導。
2	男性料理講習会 生活習慣病予防や減塩、食育をテーマに調理実習、講話、健康相談を実施。
3	生涯骨太クッキング（生活習慣病とロコモ予防） 「カルシウム不足」を改善し、効率の良い牛乳、乳製品の摂取の調理実習と普及。
4	やさしい在宅介護教室 元気で長寿を全うするため、自分でできる在宅介護食を知り、教室を開催する。
5	生活習慣病予防のためのスキルアップ事業 世代別にみる生活習慣病予防のための講話、調理実習。
6	食育推進事業 地域住民、一般成人、中高生を対象に望ましい食習慣・知識など普及啓発。
7	乳幼児健診等における「だし活」伝道業務（県） 子供のころからのうす味定着・減塩普及。
8	飲食店麺類塩分改善事業（県） 「健康で長生きな青森県」を目指し、県内の食環境を調べる。
9	農業女子・漁業女子健やか力向上セミナー 農業者、漁業者の食習慣の課題の克服
事業名 ①	<b>生活習慣病予防のためのスキルアップ事業</b>
期 日	令和元年9月～
場 所	若者世代 13ヶ所×30=390名、働き世代 10ヶ所×30=300名、 高齢世代（シニアカフェ） 10ヶ所×30=300名
活動内容・参加者等	世代別ニーズに合わせた食生活改善の推進。若者世代は、朝食欠食の解消とバランス食。働き世代は、生活習慣病予防。高齢者は、低栄養予防と孤立化の予防。居場所づくり。
事業名 ②	<b>飲食店麺類塩分改善事業</b>
期 日	令和元年8月～令和2年1月末
場 所	青森県内飲食店100店舗
活動内容・参加者等	麺類（ラーメン、うどん、そば）を提供する飲食店を訪問し、スープの重量と塩分とを計測する。
事業名 ③	<b>農業女子・漁業女子健やか力向上セミナー</b>
期 日	令和元年6月～令和2年3月
場 所	漁業（浅虫、むつ市） 農業（弘前市、相馬村）
活動内容・参加者等	青森県栄養士会がカロリーや塩分等を分析評価して開発した軽食（健やかレシピ・郷土料理）の調理、配膳、提供。 ※漁協女性部、農協女性部対象。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業に協力してもらうため、学校、団体、イベント、飲食店など、直接交渉して、事業説明主旨説明をして、理解してもらう。</li> <li>・ 試食提供時、食物アレルギーを必ず確認する。</li> <li>・ 若者、働き世代は、託児所を設け対応（開始、終了時間厳守）。</li> <li>・ 壮年、高齢世代は、老人クラブなどに交渉（調理実習にこだわらない）。</li> </ul>

### 1.3 青森県生活協同組合連合会

事業名 ①	食と健康公開講座・シンポジウム「食と体内時計を基盤とした健康づくり」
期 日	2019年7月27日(土) 五所川原市 市民学習情報センター (参加34人)
場 所	2019年8月9日(金) 弘前市 ヒロロ4階 (〃 76人) 2019年8月31日(土) 八戸市 ユートリー多目的大ホール (〃 170人) 2019年9月28日(土) むつ市 来さまい館イベントホールB (〃 58人) 2019年10月5日(土) 青森市 ワ・ラッセイベントホール (〃 87人)
活動内容・参加者等	東北女子大健康栄養学科との共催で3年目となる取り組み。一般市民向けに健康と食についての確かな情報を伝えることにより短命県返上に寄与することを目的として、県内5市で開催、延べ425名の参加。3年間では15回、延べ1400名の参加となった。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県および開催地自治体・教育委員会、青森県食生活改善推進員連絡協議会、県栄養士会、マスコミ等の後援により、広く広報していただいた。</li> <li>・9月～11月までの健康チャレンジの取組みの推進企画として位置づけ県内5市での開催とした。</li> <li>・実験を交えたわかりやすい実践的な講義に多くの共感が寄せられた。</li> </ul>
備 考	次年度は「食と健康」をテーマに、実践編としての調理実習やミニ講座の開催を予定している。
事業名 ②	食生活習慣自己チェック表等のツールの活用促進
期 日	2019年4月～2020年3月
活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北女子大学健康栄養学科と協力して開発した食生活習慣自己チェック表の活用に向けて、145名が研修を受講しました。</li> <li>・講演会や生協大会、青森大学祭、生協店舗での「測って知って健康チャレンジ」と合わせた取り組みなどで活用を進めた。延べ500名が実施。①食生活自己チェック表 ②食生活アクティブ度チェック表 ③栄養とからだの診断表</li> </ul>
事業名 ③	「食べもののおしゃべり café」
期 日	2019年12月3日(水)
場 所	青森市ねぶたの家ワ・ラッセ
活動内容・参加者等	「ゲノム編集食品と遺伝子組換え技術との違い」と社会的な問題である「食品ロス」をテーマとして開催した。(参加者45名)
取組の具体的な手法や特徴的なこと	・昨年に引き続き第2弾のゲノム編集についての学習会であり、ゲノム編集技術への理解は進んだが消費者の選択権が保障されないことに不安の声が多く出された。食品ロスについては身近な問題であり、できることを広げていくことを確認した。
事業名 ④	お魚の普及に向けた料理教室の開催
期 日	2019年7月26日(金) 沖館市民センター ホタテ料理教室 参加者16名
場 所	2019年10月12日(土) 沖館市民センター 大型魚(ぶり・さわら)の下し方教室
参加者等	参加者18名
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森県民生協では県内でとれる魚の食べ方を知ってもらうことけんみんで、魚のおいしさや栄養、漁師の苦労などを知ってもらい、気軽に家庭の食卓に上ることをめざして料理教室の開催をしている。また、料理教室の開催を通じて、買い物だけではなく健康づくりや様々な相談、集いの場所として地域に認知されていくことをめざしている。

## 1 4 青森県生活研究グループ連絡協議会

事業名 ①	「津軽の味っこ」伝承料理講習会（弘前地区連）
期 日	令和元年12月20日（金）
場 所	弘前市 清水交流センター 調理室
活動内容・参加者等	○内 容：郷土料理（5品）の調理実習、参加者との交流 ○参加者：弘前市一般市民33名、会員10名、中南地域県民局地域農林水産部1名 計44名 郷土料理を若者や子ども達の嗜好に合うように味付けを工夫し、伝承していくために、平成24年度から開催している。今年度は郷土料理等のレシピをまとめた「津軽の味っこⅢ（郷土料理集）」を作成した。
事業名 ②	東北栄養専門学校生のための郷土料理伝承会（黒石地区連）
期 日	令和2年1月18日（土）
場 所	弘前市 東北栄養専門学校 調理室
活動内容・参加者等	○内 容：郷土料理等5品の実習、意見交換 ○参加者：1年生23名、教職員等3名、会員9名、中南地域県民局地域農林水産部1名 計36名 平成20年度から実施し、今年度で12回目となる。郷土料理メニューは学校からの意見を取り入れながらグループ員が検討し、事前に技術向上研修を行い学生たちへの伝承活動を行っている。
事業名 ③	手作りの味と技を楽しむ会（鱒ヶ沢地区連）
期 日	令和元年9月17日（火）
場 所	鱒ヶ沢町総合保健福祉センター
活動内容・参加者等	○内 容：「笹餅」の実習、「塩こうじ」と「しょうゆこうじ」の実演、意見交換 ○講 師：鱒ヶ沢地区連会員 ○参加者：一般消費者18名、会員18名、支援機関1名 計37名
事業名 ④	奥津軽の味・技交流会（金木地区連）
期 日	令和2年1月16日（木）
場 所	中泊町中央公民館
活動内容・参加者等	○内 容：身近な食材や保存食品を活用した料理4品の実習、加工品2品の実演、意見交換 ○講 師：金木町赤十字奉仕団、金木地区連会員 ○参加者：女性組織等8名、会員15名、支援機関5名 計28名
取組の具体的なこと（他団体との連携など）	・各地区連とも主に会員が講師となり、調理実習を通して郷土料理の伝承や地産地消を推進している。 ・鱒ヶ沢地区連は広報で参加者を募集している。

## 1 5 一般社団法人 青森県調理師会

事業名	親子料理教室
期 日	令和元年7月28日（日）
場 所	アピオあおもり
活動内容・参加者等	小学生の親子6組12名が参加。 県産食材を使った和食料理講習会を開催。 県産食材を使った減塩・油脂を控えたバランスの良い料理を講習。 試食を通して、親子のコミュニケーションが図られました。

## 16 青森県農業協同組合中央会

事業名 ①	小学校5年生用社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」の発行
期 日	平成31年4月1日発行
活動内容・参加者等	小学校5年生の社会科で学習する「わが国の産業と国土のようす」について、本県の例を参考に学習してもらうための副読本と、教師用の指導書を作成（児童用11,600部、教師用1,120部）。小学校5年生全員に配布。
事業名 ②	「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール
期 日	令和元年6月～令和2年1月
活動内容・参加者等	毎日のごはんのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらい、農業（特にお米やごはん食）を理解してもらうためにコンクール及び表彰式を実施。 ○対象：県内全小・中学校（実施校120校） ○作文233点、図画95点
事業名 ③	「バケツ稲づくり」
期 日	平成31年4月～
活動内容・参加者等	バケツを使って稲を育てるという一連の作業をとおして、お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうために、「バケツ稲づくりセット」①種粃（肥料付）、②栽培マニュアル、③手引書（教師用）を無償配布。 ○対象：全小学校（原則として5年生） 実施校41校 1,885セット
事業名 ④	ちゃぐりんの学校への寄贈
期 日	平成31年4月～令和2年3月
活動内容・参加者等	各JAと協力のうえ、県内174校へ「ちゃぐりん」（JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌）を寄贈し、食料、農業への関心を醸成している。
事業名 ④	県内JAでの食農教育
期 日	平成31年4月～令和2年3月
活動内容・参加者等	県内JAでは、それぞれ独自のとりくみとして、農業体験学習（学童農園）の普及・推進、JA施設見学の受入、親子料理教室の開催、出前授業などを実施している。

## 17 青森県JA女性組織協議会

事業名 ①	農業ふれあい教室
期 日	平成31年4月～令和2年1月
活動内容・参加者等	地域の子どもたちに、農産物の栽培をとおして、作る楽しさと食べる喜びを感じてもらい、農業に対する理解と地産地消の啓もうを図るために、県内5JA女性部で管内小学校児童と一緒に植付けから収穫までの農業体験や、収穫した農産物を使った料理教室などを実施。県内小学生410名が参加。
事業名 ②	作文・かべ新聞コンクール
期 日	令和元年12月
活動内容・参加者等	農業ふれあい教室で農作業を体験した児童に作文・かべ新聞を書いてもらい、優秀者等を表彰。 応募作品数 作文：5小学校から15作品、かべ新聞：5小学校から9作品
事業名 ③	各JA女性部による地域に根ざした食育活動の展開
活動内容・参加者等	各JA女性部で、食育活動の一環として、地元小学校と連携し、学校給食の食材として地場産物を納入したり、農作業や調理など、各種体験学習の受入を実施。

## 18 全国農業協同組合連合会青森県本部

### 活 動 内 容

J Aの活動を通して「農業」に接することにより、地元や県産農畜産物への理解・愛着を深めてもらいたいという意図のもと、小学生・園児に向けて食育活動に取り組んだ。

#### 1. 紙芝居キャラバン：やさい部 やさい花き課

地域タレント「トリ☆ポン」のトークによる「青森いきいきやさい紙芝居」を実施した。

実施月日	市町村名	学校名	対 象
7月2日（火）	黒石市	北陽小学校	全校児童95名
9月27日（金）	青森市	佃小学校	全校児童488名
12月17日（火）	外ヶ浜町	風のまちこども園	年長園児56名
1月24日（金）	弘前市	三省小学校	全校児童41名

#### 2. 県やさい作品コンクール：やさい部 やさい花き課

県内の小学校から、やさいに関する図画、習字（半紙）・習字（条幅）の作品の募集を行い、審査、表彰を行った。

応募点数：図画545点、習字（半紙）5,911点、習字（条幅）219点、合計6,675点

表彰点数：図画39点、習字（半紙）39点、習字（条幅）39点、合計117点

実施月日	催事名	実施場所	備 考
6月17日（月）	募集開始		
10月11日（金）	審査会	青森市 県農協会館会議室	
11月16日（土）	表彰		
11月16日（土）～17日（日）	入賞展示	青森市 サンロード青森会議室	

## 19 一般社団法人 青森県りんご対策協議会

事業名	若年層を対象とした青森りんご消費宣伝対策事業
期 日	令和元年9月～令和2年3月
場 所	青森県内、全国各地
活動内容・参加者等	<p>青森県りんご果樹課等との連携や、本会の構成団体である「全国9地区青森りんごの会」とのネットワークを活かし、県内外で青森りんごの食育活動を展開。</p> <p>&lt;県内&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食用として使用するりんごの購入費の一部を助成。</li> <li>2 青森県りんご果樹課が実施する小学校での「青森りんご出前授業」で使用するりんご、学童用資材の提供。</li> </ol> <p>&lt;県外&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幼稚園、小学校等を対象とした「青森りんご食育授業」の実施。</li> <li>2 青森県主催の「青森県知事直伝!親子で学ぶアップルスクール」へのミスりんご参加。(福岡県、兵庫県、新潟県)</li> <li>3 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等を対象とした、学習用や給食用のりんご提供。</li> <li>4 学童用資材の作製 りんごの品種やりんご作りの作業過程を紹介した下敷き、学習帳を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布。</li> <li>5 栄養系大学へのりんご提供 管理栄養士、栄養教諭の養成課程がある全国70以上の大学を対象に、授業教材としてりんごと青森りんごの学習冊子を配布。</li> </ol>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>りんごの新しい食べ方「スターカット」のPRを今年度より大々的に展開。特に若年層への浸透に力を入れている。</p> <p>&lt;「スターカット」とは・・・&gt;</p> <p>りんごを横にして皮つきのまま輪切りするカット方法。皮ごと食べることでりんごの栄養を無駄なく摂取でき、可食部が増えることで生ごみが少なくなりエコ。厚さを調整することで幼児や年配者にも食べやすく、スナック感覚で食べられるため、健康的なおやつとしてもおすすめ。</p> <p>&lt;青森りんごで栄養丸ごとスターカットPRサイト&gt;  <a href="https://www.aomori-ringo.or.jp/starcut/">https://www.aomori-ringo.or.jp/starcut/</a></p>

## 20 青森県漁業協同組合連合会

活動内容	
<p>1 青森県産水産物の品質、衛生管理面の向上に努めるとともに、適正な産地表示にもこれまで以上に取り組み、消費者との信頼関係の構築に努めました。</p> <p>2 青森ほたて及び青森の鮭のPRと消費拡大を図るための宣伝活動を継続的に実施しました。</p> <p>3 青森県ほたて流通振興協会に共催し、県内小学校（4校）で出前講座を実施、県産ほたての長期的な食育推進と消費拡大を図りました。</p> <p>4 ホームページ上での「青森のほたて」、「青森の四季のお魚」で栄養と料理レシピ等や「ネット販売」により、魚への知識向上と消費者への魚食普及を図りました。</p> <p>5 県内外の物産展等に出店参加し、県産水産物の販売、マグロの解体販売等で本県の水産物及びその加工品の美味しさをPRし、消費拡大を図りました。</p> <p>6 本県水産物の流通拠点となる施設「流通PRセンター」のオープンを記念し、県内全域から旬の魚を集めた即売会を開催、「青森のさかな」をPRし、魚食普及と消費拡大に取り組みました。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協、関係団体と連携を密にし、本県水産物の更なる啓発と食育の推進に取り組んでいきます。</li> <li>・「流通PRセンター」を活用し、県内の旬の魚介類を集めた定期的な水産フェアを開催し、魚食普及と消費拡大に取り組めます。</li> </ul>

## 21 八戸水産加工業協同組合連合会

事業名 ①	第6回ご当地イカ料理コンテスト
期 日	令和元年8月10日
場 所	八戸ポータルミュージアムはっち
活動内容 参加者等	八戸ならではの「イカ」料理を発掘し、PRすることで、水揚げ日本一を誇るイカの生産振興および消費拡大のほか、日本一のイカの産地としての知名度向上を図る。応募資格は小学生以上とすることで、地元の食材を活用した食育に貢献。40作品の中から22作品を選出して最優秀賞を決定。
事業名 ②	「38DAYS」・・・さばデイズ
期 日	令和元年10月25日～12月1日（「38DAYS」イベント）
場 所	八戸中心街および八食センター屋内外
活動内容 参加者等	八戸前沖さばが旬の時期に38日間を「38DAYS」とし、市内各所でイベントを開催。①「鯖サミットin八戸」②saba FESTA③「八戸前沖さばアイデア料理コンテスト」56作品応募があり20作品を選出してグランプリ決定)等が開かれ、楽しみながら鯖による食育の普及を図った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>①イカ料理コンテストは、イカが「八戸市民のさかな」に指定されたのを記念して開催。ポスター広告等に、「マリエント」でのイベントや「浜市場みなとと」のイカ販売と協調して掲載し盛り上げた。</p> <p>②11月2日から3日まで、全日本さば連合会による「鯖サミット2019in八戸」を開催。全国からサバ事業関連31企業・団体が出展。家族連れなど約3万5千人で賑わった。</p>

## 2.2 公益社団法人 青森県物産振興協会

事業名	「青森の食の魅力」を発信する青森県物産展等の開催
期 日	平成31年4月～令和2年3月
場 所	県内外の百貨店、量販店、当協会直営催事スペース（新青森駅内）、産業会館
活動内容・参加者等	本県が誇る安全・安心な農林水産物及びその加工品を県内外の消費者に広く紹介するために、物産催事や大農林水産祭を開催し、「青森の食の魅力」を発信した。

## 2.3 青森県商工会連合会

活動内容・参加者等	「だし活」をテーマとした郷土料理等のレシピ集作成に向けて「だし活」及び県下のだし素材の調査研究と食材の掘り起こし、メニュー作成等を実施。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森県商工会女性部連合会が主体となって、上記レシピ集作成のため「だし活」についての調査研究を行い、また、県内7ブロックそれぞれで「だし活」メニュー検討会及び調理実習会などを開催。
備 考	商工会女性部として本県の短命県返上に一役買いたいと思っております。

## 2.4 株式会社さくら野百貨店

事業名①	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べ比べ教室」
期 日	毎月1回
場 所	さくら野百貨店 青森本店
活動内容・参加者等	店顧客を対象（20～40名）に、旬の野菜、果物の食べ比べや調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地場・地方の産地・取引先からの協力もいただき実施。
備 考	2020年度も実施予定

## 25 株式会社ユニバース

活 動 内 容	
事業名 ①	「子どもが作るお弁当の日」開催
期 日	令和1年12月16日開催
場 所	十和田市立松陽（しょうよう）小学校 ※他に八戸市内3つの保育園（児童 計113名）にて食育教室を開催
活動内容・参加者等	全児童36名を対象に、お弁当作りをこども自身が行う「お弁当の日」を開催。 ”食”について学び感謝の心を育む機会になりました。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	小学校へ食材提供。 開催風景・お弁当画像を掲載したパンフレット制作、ポスター掲示。
事業名 ②	「クッキングサポート」でのメニュー提案
期 日	毎日（メニューは、1週間を月曜日～木曜日の4日間、金曜日～日曜日の3日間に分けて週2品提案）
場 所	ユニバース十和田東店内、ユニバース東青森店内
活動内容・参加者等	「健康・減塩・低カロリー」をテーマに、食品メーカー様と連携してメニュー提案。 店内ではメニューを調理し、試食を提供。
事業名 ③	「嶽きみ収穫体験」の開催
期 日	令和1年9月8日開催
場 所	弘前市 岩木山麓
活動内容・参加者等	親子25組50名様に参加いただき、嶽きみ収穫体験を開催。 収穫体験の後は、嶽きみのお振る舞いで旬の美味しさを味わった。
事業名 ④	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに野菜摂取促進の啓蒙
期 日	毎月実施
場 所	店内POP・DVD、折込チラシ
活動内容・参加者等	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに店内POPや折込チラシに掲載することで野菜摂取促進の啓蒙活動を実施。
事業名 ⑤	「エコごぼう」の販売
期 日	令和2年1月27日開始(なくなり次第終了)
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・参加者等	食品残渣を堆肥に製造（佐々木総業様の南郷工場）し、ご協力いただいている農家様に使用していただき、生産した「エコごぼう」を販売。

## 26 株式会社マエダ

事業名 ①	むつ市のうまいは日本一
期 日	令和元年8月、11月
場 所	本店、ガーラモール店
活動内容・ 参加者等	むつ市、下北の特産品の試食販売
事業名 ②	お弁当の日
期 日	令和元年11月
場 所	本店、むつ市立第二田名部小学校
活動内容・ 参加者等	小学校で実施しているお弁当の日への協力 ・お弁当の日に合わせて調理実習への卵とウインナーを提供 ・お弁当の日の小学校での写真をマエダ本店で展示
事業名 ③	お客様料理教室の開催
期 日	令和2年2月
場 所	青森市（市民センター）、むつ市（下北文化会館）
活動内容・ 参加者等	チョコレート教室の開催
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	学校やメーカーと連携した。
事業名 ④	「青森県産品まつり」の企画
期 日	毎月第2週の週末
場 所	マエダストア全店（売場）
活動内容・ 参加者等	・チラシで県産品の特集を組んで販売 ・普段売り場に出ていない商品を見つけてお客様に紹介する
事業名 ⑤	地場商品コーナーの展開
期 日	通年
場 所	マエダストア各店舗
活動内容・ 参加者等	「地産地消」を目的に地場野菜を中心に販売。 全店に販売コーナーを常設。野菜や加工品などを青森県の農家さんから仕入販売。

## 27 株式会社イトーヨーカ堂 五所川原店

事業名①	「あおもり産直所まつり」
期 日	2019年10月26日（土）、27日（日）
場 所	センターコート催事場
活動内容・参加者等	県内産地直売所とイトーヨーカ堂五所川原店が連携した販売イベント。県庁と協力して、県産商品をPR販売の強化。
事業名②	「青森中央短期大学監修 彩り弁当」の販売
期 日	2019年9月
場 所	お弁当売場
活動内容・参加者等	青森中央短期大学の学生が考えた地産地消の弁当を店頭で販売。
事業名③	五所川原農林高校×味しらべ「五農米で作った味しらべ」販売
期 日	2019年2月
場 所	店頭催事場
活動内容・参加者等	地元高校生が作った「五農米」を使った岩塚製菓「味しらべ」を販売。高校生達と試食会も実施。

## 28 紅屋商事株式会社

事業名①	「こだわりの味協同組合 食の勉強会」の実施
期 日	2019年11月14日、15日
場 所	11/14 アピオ青森、11/15 弘前市民会館
活動内容・参加者等	食の勉強会は、講師の方が弊社へ年3回の訪問が決定しており、その3回を消費者参加型としました。内容は、①添加物について②安心な食べ物について等を商品の紹介を交えて講話していただきました。また、参加された消費者へアンケートを実施し、無添加について等の関心度を測りました。
事業名②	東北女子短期大学との食育啓発活動の実施
期 日	2019年6月30日
場 所	カブセンター弘前店
活動内容・参加者等	毎年、地域の学校や自治団体との食育啓発活動を行っているが、今年も昨年に引き続き弘前市の東北女子短期大学生活科の学生と一緒に取り組みました。 テーマ「みそ汁の秘密！出汁ってなんだろう？」について

## 29 一般社団法人 青森県歯科医師会

事業名	8020 健康社会フォーラム 2019
期 日	令和元年 11 月 10 日 (日)
場 所	青森県歯科医師会館 (青森市)
活動内容・参加者等	<p>参加対象：一般県民</p> <p>内 容：小野寺晃彦青森市長、山口勝弘青森県歯科医師会会長の講演会 テーマ：「健康づくりとまちづくり」</p> <p>歯とお口の健康に関するブースを設置</p> <p>・無料フッ素塗布、歯科健康相談、検診・口腔がん検診、指模型作成、企業展示 他 企業展示では、口内環境を整えるヨーグルト等、歯磨き以外の食事でも口の健康を保つことができることを啓発した。</p>

## 30 公益社団法人 青森県看護協会

事業名 ①	看護の日・看護週間事業
期 日	令和元年 5 月 12 日～5 月 18 日
場 所	県内 6 支部及び会員所属病院
活動内容・参加者等	地域において一般県民を対象にした生活習慣病予防等食育に係る活動を実施した。
事業名 ②	「まちの保健室」 定期的健康相談事業
期 日	平成 31 年 4 月～令和元年 12 月
場 所	県内 3 ヶ所
活動内容・参加者等	<p>青森市：道の駅「ゆ～さ浅虫」 (16 日間)</p> <p>八戸市：「はっち」 (36 日間)</p> <p>鱒ヶ沢町：海の駅「わんど」 (30 日間)</p> <p>上記会場で来所者に対する生活習慣予防等の食育に係る活動を実施した。</p>
事業名 ③	各市町村における「健康まつり」 参画活動
期 日	令和元年度
場 所	県内 6 支部「健康まつり」開催地
活動内容・参加者等	健康まつりに参加した地域の一般市民を対象に健康相談による食育に係る活動を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	看護協会会員が県内各地で健康づくりのために健康相談等を開催し、看護の知識・技術の提供を継続的に実施した。

### 3 1 公益社団法人 青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション 1
期 日	令和元年度
場 所	栄養士会事務所
活動内容・ 参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施 電話 毎週火曜日10時～12時 HP 随時
備 考	令和2年度も実施予定
事業名 ②	減塩プロジェクト 「減塩親子料理教室」
期 日	令和元年10月26日、12月8日
場 所	十和田市子ども食堂キッチンスタジオ、五所川原市コミュニティセンター
活動内容・ 参加者等	栄養士会の短命県返上の事業「減塩プロジェクト」で乳和食の献立を使つての 親子の料理教室。 十和田市3組8名、五所川原市5組12名の参加。
事業名 ③	減塩プロジェクト事業 1 (弘前市民の健康まつり)
期 日	令和元年7月14日
場 所	ヒロロ
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩みそ汁試飲 411名 食育SATシステム体験 300名、減塩アンケート201名 健康おみくじ (ポケットティッシュ)
事業名 ④	「サンロード健康フェア」あおもり栄養ケア・ステーション 2
期 日	令和元年10月5・6日
場 所	サンロード青森
活動内容・ 参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート98名
事業名 ⑤	減塩プロジェクト事業 2 (八戸市環境・健康フェスタ2019)
期 日	令和元年9月29日
場 所	八戸市 はっち
活動内容・ 参加者等	減塩の大切さ (0.7%みそ汁の試飲 375名、減塩アンケート 342名)、 栄養相談 50名、フレイル予防300名を行った。
事業名 ⑥	減塩プロジェクト事業 3 (横内センターまつり)
期 日	令和元年11月3日
場 所	横内市民センター
活動内容・ 参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩みそ汁の試飲 100名 減塩アンケート83名、栄養相談 13名
事業名 ⑦	減塩プロジェクト事業 4 (十和田市コミュニティまつり)
期日	令和元年10月20日
場所	十和田市
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート124名
事業名 ⑧	減塩プロジェクト事業 5 (東北町健康福祉まつり)
期日	令和元年11月2・3日
場所	東北町

活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート83名
事業名 ⑨	減塩プロジェクト事業 6 ( あおもり健康寿命延伸フェア2019 )
期 日	令和元年11月14日
場 所	アウガ
活動内容・参加者等	栄養相談17名 減塩みそ汁体験 97名、減塩アンケート 111名
事業名 ⑩	減塩プロジェクト事業 7 ( 健康づくり市民のつどい )
期 日	令和元年11月16日
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・参加者等	「栄養相談コーナー」( 来場者350名 ) 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、栄養クイズ、減塩アンケート310名健康おみくじ ( ポケットティッシュ )、栄養相談30名
事業名 ⑪	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション 3
期 日	令和元年度
場 所	マエダアリーナ ( 青森市 )
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 種目は自転車、バドミントン、ボート、スキー、スピードスケート等、計28回
取組の具体的手法や特徴的なこと	青森県スポーツ科学センターとの委託事業
事業名 ⑫	「健やか隊員育成プログラム研修会」 あおもり栄養ケア・ステーション 4
期 日	令和元年 7月2日～12月18日
場 所	むつ市、八戸市、青森市、十和田市
活動内容・参加者等	500キロカロリー、塩分2.5gのお弁当を試食しながら、50分ほどの健康的な食生活のおはなし 参加者 315名
取組の具体的手法や特徴的なこと	青森県医師会 健やか力推進センターより講師依頼。 研修内容は体力測定、健康のお話し、栄養、運動等を研修しすこやか隊員を育成
事業名 ⑬	「健康を意識した食生活について」 あおもり栄養ケア・ステーション 5
期 日	令和元年10月29日
場 所	日本銀行 青森支店
活動内容・参加者等	職員の健康教室に対しての講師紹介
取組の具体的手法や特徴的なこと	朝食の重要性、忙しい朝の食事、減塩食のポイントなど

### 3 2 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

事業名	青森県子どもの居場所づくりコーディネーター養成講座
期 日	令和元年11月13日から令和2年2月10日までの6日間
場 所	県民福祉プラザ（青森市）
活動内容・参加者等	6日間の養成講座プログラムの3日目を「子どもの居場所」の見学・実習とし、県内で実施されている子ども食堂やプレーパークでの実習を行った。運営等について学ぶほか、実際の調理や交流に参加した。参加者は65人。

### 3 3 一般社団法人 青森県保育連合会

事業名 ①	令和元年度 給食研修会
期 日	令和元年11月18日
場 所	ホテル青森
活動内容・参加者等	会員施設 給食関係者及び保育関係者 253名 「子どもとつながる給食活動」～新保育所指針と食育～ 講師：諏訪保育園 園長 島本一男 氏
事業名 ②	令和元年度 第2回給食部会内研修会
期 日	令和元年8月23日
場 所	県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	給食部会 部会員 アレルギー対応食について 講師：弘前市教育委員会 学務健康課 海老名寿佳氏、藤田氏
備考	県内保育所等の給食関係者の資質及び専門性等の向上を目指し開催

### 3 4 国立大学法人弘前大学 農学生命科学部

事業名 ①	公開講座「リンゴを科学する」
期 日	令和元年12月14日
場 所	平川市生涯学習センター
活動内容・参加者等	① 変なリンゴ大集合！！ ② 特別報告「平川市超りんご会議」を開催して ③ リンゴに含まれる機能性成分とその摂取効果 ④ 病原菌も頑張っている
取組の具体的な手法や特徴的なこと	公開講座「リンゴを科学する」は平川市との共催で実施。
備 考	来年度も実施予定
事業名 ②	親子体験学習
期 日	令和元年6月1日、6月15日、10月5日、10月12日、11月2日
場 所	金木農場、藤崎農場
活動内容・参加者等	羊の毛刈、田植、リンゴの摘果・収穫、昆虫採集、さつまいもの収穫、イネ刈りなど
備 考	来年度も実施予定

### 35 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

#### 1 公開講座における食育活動の実践

事業名 ①	食の安全って？正しい知識で賢く選ぼう
期 日	令和元年6月1日
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	一般の方を対象に、食品の安全性の考え方と食品のリスクとの付き合い方について講義した。
事業名 ②	南極観測隊・調理隊員渡貫さんから学ぼう！～食材を使い切る極意～
期 日	令和元年6月15日
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	持ち込める食材の量に限りのある中、創意と工夫で1年間隊員の食を支えた「食材を使い切る極意」について、講演会を実施した。
事業名 ③	パスタマシーンでうどんを作ろう
期 日	令和元年8月17日
場 所	青森中央短期大学
活動内容・参加者等	親子を対象として、パスタマシーンを使用してうどんを作る調理実習を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	専門的知識をわかりやすく伝えながら、参加者が興味をもって取り組める講座を毎年企画している。来年度以降も本学の特性を活かした講座を企画し実施していきたい。

#### 2 教員が依頼された出前講座・研修会での主な食育普及活動

事業名 ①	一般の方を対象とした講演・セミナー 青森市食育レッスン市民セミナー
期 日	令和元年6月16日
場 所	アピオあおもり
活動内容・参加者等	食と体のつながりを学び体験するセミナーの講師を担当した。
事業名 ②	児童生徒・保護者、親子を対象とした講話・調理実習 講話：大間町立奥戸小学校健康教室（児童対象） 他1件 調理実習：認定子ども園青森中央短期大学附属第三幼稚園親子クッキング、青森市立浦町中学校郷土料理教室 他2件
期 日	講話：令和元年10月25日 調理実習：令和元年12月
場 所	講話：大間町立奥戸小学校 調理実習：認定子ども園青森中央短期大学附属第三幼稚園、 青森市立浦町中学校調理実習室
活動内容・参加者等	講話では、1年生から4年生児童を対象に、肥満予防・かむことの大切さについて授業を実施した。調理実習では、幼児が料理を体験することを重視して計画した親子クッキングを実施した。中学生と保護者には青森県の食文化に触れ郷土料理の調理実習を実施した。
事業名 ③	食育指導者・専門職を対象とした講演 食生活改善推進委員へのスキルアップ研修 他5件
期 日	令和元年8月
場 所	青森市健康増進センター

活動内容・参加者等	子どもを対象とした食育指導を行う際の子どもへの接し方、指導のポイントについて講義した。
事業名 ④	青森中央短期大学 食育講座・出前講座 幼児・保護者、高校生、高齢者等一般の方、食に関する専門職の方への講義や実習
期 日	令和元年5月～令和2年3月
場 所	各保育施設、各高等学校、青森中央短期大学等
活動内容・参加者等	令和元年度は食育講座16件、食に関する出前講座9件を実施した。 食育講座は保育施設と専門職からの要望が多く、テーマや内容は対象者の希望に応じて実施している。幼児に対しては好き嫌いや食事のマナーなどについて教材を用いて講話を実施した。専門職に対しては、小学校家庭科における食育についての講義、朝食についての講義と実習を実施した。 出前講座は高等学校と一般の方からの要望が多い。高校生には青森県の食の魅力と食育、スポーツと食育等、一般の方には食品表示などについて講座を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	食育講座では依頼先のニーズに応じた内容を実施している。出前講座は学科の専門性を活かしたテーマを設定し、参加者が興味をもちながら「食」について学ぶことができる内容としている。

### 3 人材育成のための研修会、セミナーの実施

事業名 ①	①地域の食育活動実践者・食育リーダー育成のための学内研修会 「コーチングスキルの基礎～食育実践活動への応用～」 ②食育セミナー「自律した食育活動の展開を目指して～子どもを対象とした食育活動の充実に必要なこと」
期 日	①令和元年10月31日 ②令和元年11月23日
場 所	①②青森中央短期大学
活動内容・参加者等	①では本学園の保育施設職員、短大教員、学生が参加し、コーチングスキルを活かした食育指導について講演とグループワークを実施した。 ②では一般・専門職の方、学生が参加し、食育実践のポスター発表、外部講師による基調講演、食育実践者による実践報告、パネルディスカッションを実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	本学では全ての世代への食育活動展開事業、地域の食育活動実践者の育成・支援事業を通して、青森県民の健康行動変容を習慣づける食育活動を推進していくことを目指している。

### 4 学生が中心となって実施している食育活動、その他

事業名 ①	みんなの食堂 inCHUTAN (全12回)
期 日	令和元年9月～令和2年2月
場 所	横内市民センター等
活動内容・参加者等	地域の子どもから高齢者、学生と一緒に料理して食事会をする取り組みを実施した。その中で毛豆の収穫体験、雲谷高原蕎麦打ち体験も実施した。
事業名 ②	産学官共同による「中短生が伝える味！縄文遺跡群登録応援弁当」考案
期 日	令和元年5月～9月上旬
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	本学学生が青森県で縄文時代に食べられていた食材を使用した縄文文化を想起させるお弁当を考案し、その販売を企業が行った。

事業名 ③	学生食育プロジェクト「おむすび」
期 日	①令和元年8月27日 ②令和元年9月29日
場 所	①筒井保育園 ②第10回おがわら湖美味満載祭り
活動内容・参加者等	食物栄養学科と幼児保育学科の学生が、学生食育プロジェクト「おむすび」として共同で幼児や一般対象の食育活動を実施した。
事業名 ④	食べよう青森！樹の実プロジェクト
期 日	①令和元年7月21日 ②令和2年2月29日
場 所	①青森市スポーツ公園わくわく広場 ②青森中央短期大学
活動内容・参加者等	本学園敷地で収穫した桜、カシスなどを活用したスイーツを考案する学生プロジェクトとして、パウンドケーキを調理・販売した。また、桜を活用した和菓子教室を開催予定である。
事業名 ⑤	特別養護老人ホームにおける手作りおやつを提供
期 日	令和元年7月
場 所	社会福祉法人中央福祉会 特別養護老人ホーム三思園、青森中央短期大学
活動内容・参加者等	噛む力や飲み込む力が弱くなった方でも「口から食べる喜び」を感じられるように、高齢者が食べやすいおやつを考案・調理した。おやつ提供の際は、専攻科福祉専攻の学生と一緒に入所者の方に提供した。

### 36 株式会社 東奥日報社

活 動 内 容
青森県の多彩な食の魅力を外に広く発信し、地域活性化に寄与することを目的に、青森県観光連盟と共催して平成28年度から開催している「うまい森 青いもりフェア」は本年度からテーマを食と健康にリニューアルした。「県産品を賢く食べて健康になろう」の趣旨の下、サブタイトルを「地産地消で健康・長寿」に変更し、これまで展開してきた短命県返上キャンペーンの一環とした。また、紙面では各地での食育に関する取り組みを随時紹介している。今後も紙面、本社主催事業を通じ食育の推進に協力していきたい。

### 37 青森県土地改良事業団体連合会 (あおもり水土里ネット女性の会)

事業名 ①	地域での食育の推進事業における「農業体験会」 (たまねぎの収穫・調理体験)
期 日	令和元年7月26日
場 所	青森市 奥内地区ほ場
活動内容・参加者等	農作業体験を通して、農業の大切さを伝え、収穫及び調理体験をすることで、地域の食材に対する愛着を深めることを目的に幅広い世代を対象に開催。 ・参加者 30名
事業名 ②	地域での食育の推進事業における「農業体験会」 (たまねぎの定植)
期 日	令和元年10月18日
場 所	青森市 奥内地区ほ場
活動内容・参加者等	農作業体験を通して、自然の恵みや食の大切さを感じ、また、農業体験を通して、地域の農産物に対する愛着を深め、幅広い世代を対象に開催。 ・参加者 16名

### 38 あおもり食育検定委員会 (事務局：青森中央短期大学)

事業名 ①	2019年度あおもり食育検定
期 日	2019年6月16日(日)
場 所	主会場 青森中央短期大学(青森市)、東北女子大学(弘前市)、 八戸学院大学(八戸市)、むつ来さまい館(むつ市) 団体会場 県立八戸西高等学校(八戸市)、県立木造高等学校(つがる市)、 県立青森南高等学校(青森市)、県立十和田西高等学校(十和田市)、 東北女子短期大学(弘前市)
活動内容・参加者等	会場：県内4会場(主会場)及び5団体会場(準会場)で実施した。 状況：317名が受検し、222名が合格した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	受検希望者には、検定テキストを無料で配布している。更に、検定合格者は「あおもり食育サポーター」への登録資格が取得できる。 希望により「あおもり食育検定出前講座」を開催し、あおもり食育検定委員がテキストに沿った内容を解説している。
備 考	2020年度の検定は、11月15日(日)に実施する予定。